

# ちょっとおじゃまします

坪井良寛先生

京都府亀岡市〈つばい鍼灸整骨院〉



## 『ブレインング・トレーナー』の 経験生かし

中学1年生の頃から陸上部で活動を続けてきたという坪井先生。鍼灸整骨院にも長らくお世話になっていたそうで、高校卒業後に治療家の道を選ぶことは、早い段階から意識していたといえます。ただ、進路を選んだ最大の理由は、高校卒業後も陸上競技を続ける上で、身体の仕組みや効率的なケアの方法を知り、自らの体に生かすためでした。

平成18年にはり師・きゅう師、平成22年に柔道整復師の免許を取得、平成24年には明治国際医療大学の大学院を卒業して鍼灸修士に。その間も陸上選手として活動を続け、三段跳びで京都府大会の優勝を決めるなど実績を残しています。また、一方ではトレーナーとしても活動。陸上だけでなくアメフト、新体操、野球など様々な競技で、強豪大学や実業団の選手の治療・コンディショニングに携わってきました。学んだことをすぐに実践して手応えを確かめられる環境が、選手としてもトレーナーとしても大きな成長につながったと語り、「ブレインング・コーチな

らぬ、『ブレインング・トレーナー』で  
すね」と在学中を振り返りました。

卒業後は、京都府内の鍼灸整骨院での数年間の勤務と分院長の経験を経て、地元・亀岡市で独立開業。治療院のメニューは『医療』『スポーツ』『美容』の3本柱で、「軸が多いのではと言われることもありますが、自分の中では全て一つの治療につながっています。美容といっても姿勢や体質の改善などで『健康になることで美しく』というもので、あくまで根本的な治療です」と話します。治療は関節運動学の考え方を重視しており、高周波やEMSの治療機器を多く導入し、患者さんの病態によって使い分けています。患者さんは慢性疾患より、近隣の部活動など地域のスポーツ選手が中心だといい、「本来、なかなか本格的な治療やコンディショニングを受けられない学生選手にも、自分自身の選手人生と、トップアスリートを担当してきた経験を生かした全力の治療を」と志を語ってくれました。

坪井良寛先生 平成18年、明治国際医療大学卒業。同年、はり師、きゅう師免許取得。平成22年、京都保健専門学校卒業。同年、柔道整復師免許取得。平成24年、明治国際医療大学大学院卒業。32歳